



伝えて！ じょうもん人からのメッセージ



じょうもんじだい 縄文時代 というと、みんな、何を想像するかな？

じょうもんとき 縄文土器 とか、か 狩りをしていたとか、木の实を食べていたとか、かな？

それらは全て せいかい 正解。でもね、それらが全てじゃないんだ。

今から1万3千年～3千年前の **1万年間も続いていた** 縄文時代に、
縄文人は森の恵みを受け、工夫をして生活をしていたと考えられているよ。

縄文人が使っていたものから、縄文人が考えていたことを探ることだってできるんだ。

みんなが住んでいる **山梨県** は、縄文時代の遺跡がたくさんある「**縄文王国**」。

縄文時代

平安 江戸 現代

さあ、「縄文王国」の様子をのぞいてみよう！

魔法の器「縄文土器」って？

縄文時代という名前は、縄目の模様の付いた土器が使われていた時代ということです。この土器を縄文土器と呼んでいます。また、はじめて、粘土を焼くことで器を作ることを見つけた時代です。この発見によって、人々の暮らしは大きく変わりました。

縄文土器は、魔法の器なのです。

* 土器の模様とモデルチェンジ *

魔法の器は、縄文時代の草創期から晩期という長い時代の中で、形や模様の流行があって、変化します。

早期の頃は底がとがっています。皮袋などを想像しながら作られたのかもしれないですね。前期になると、粘土に植物を混ぜたり、模様も少し複雑になってきます。中期の頃にはとても華やかな土器を作ります。後期には注口土器といった急須のような形の器も作られるようになります。晩期では、まるで工芸品のようなとても繊細で丁寧に磨かれた器が作られます。



早期の土器
釈迦堂遺跡
(笛吹市・甲州市)



前期の土器 天神堂遺跡(北杜市)



中期の土器 平林遺跡(北杜市)



中期の土器 釈迦堂遺跡
(笛吹市・甲州市)



後期の土器 中谷遺跡(都留市)



晩期の土器 石之坪遺跡(韮崎市)

* 縄文土器は何に使われていたか？ *

縄文土器を観察すると土器の底の方に黒い焦げ目が付いていることがあります。今の鍋のように使っていたのでしょう。

料理するためだけでなく、食べ物を保存するためにも使われていました。フラスコの形をした穴から発掘された土器は貯蔵用のようです。

食べ物に関わるものだけに使われたわけではなさそうです。



復元した縄文土器で料理をしました。
美味しい縄文スープができました！

発掘をしていると^{たてあなじゅうきょ}竪穴住居の中に土器が埋められていることがあります。これは^{うめがめ}埋甕と呼ばれ、家の玄関口に埋められています。家の外に埋められていることもあり、お墓と考えられています。また、お墓のお供え物（^{ふくそうひん}副葬品）や、儀式の中で土器を割りながら埋めていくこともおこなわれていたようです。縄文土器は色々なことに使われていた^{ばんのう}万能の器、魔法の器なのです。

縄文土器も壊れてしまうことがあります。そんな壊れてしまった土器もリサイクルされて、^{えんばんじょう}円盤状に加工した土器片製円盤や^{ときへんせいえんばん}おもりにした土器片^{ときへんすい}錘として再利用されることもあります。また、直して使うこともありました。



土器を埋める儀式のイメージイラスト



儀式で埋められた土器
安道寺遺跡(甲州市)



土器片製円盤 中道遺跡
(韮崎市)



土器片錘 釈迦堂遺跡
(笛吹市・甲州市)

* 粘土でできたフシギな小物(土製品) *

粘土を焼いて作ったものは縄文土器だけではありません。縄文王国の「女神さま」土偶をはじめ、色々なものが作られています。



縄文王国のフシギな小物たち
どんなお祭りで使われたのかな？友達と考えてみよう！
女夫石遺跡(韮崎市)

たとえば、スプーンの形をしたもの（^{じょうど}さじ状土製品）や、大きな土器のミニチュア版みたいなものなどがあります。まるでおまごとの道具のようですが、お祭りをおこなうような場所などから出土することもあるので、儀式用の器として使われたと考えられます。

さて、縄文王国山梨で縄文時代中期に作られていた土器はとても面白くて、縄文人の女神さまや、ヘビやイノシシを表した立体的な模様がつけられます。

ただ鍋として使うためには必要なさそうですね。

でも、そこには縄文人が土器にこめたメッセージがあるはずです。

みんなも、そのメッセージを読み取ってみませんか？



「じょうもん人からのメッセージ」 森や文化を大切に作る縄文人の心

「じょうもん人からのメッセージ」とは？

女神さま・ヘビ・イノシシなどの模様は特別な意味がこめられています。縄文人は、女神さまを^{ちようしぜんてき}超自然的な力を持ち森に恵みをもたらしてくれる存在と考え、人の形や顔の模様で表しました。ヘビ・イノシシなどの動物たちはそのままの姿で模様になっていますが、おそらく女神さまの化身^{けしん}か使いとして考えられていたのでしょう。

縄文人は森に恵みをもたらしてくれる女神さまや動物たちに感謝し、その姿を土器に表現しました。その際、女神さまや動物たちがなぜ、あるいはどのようにして森に恵みをもたらしてくれたかという物語を想像しながら作ったことでしょう。また、土器に女神さまや動物たちの模様をつけることで、超自然的な力が土器自体に^{やど}宿ることを願っていたかもしれません。

「じょうもん人からのメッセージ」とは、女神さまや動物たちの模様にこめられた縄文人の物語や願いのことです。

では、どのような物語があったのでしょうか？ そのひとつを紹介します。

「優しい妖精」^{ようせい}（作：小関里歩さん・塩山南小6年）

妖精のどぐうちゃんが木の実を拾い、ゆでようとした時に、遠くの村からかすかな赤ちゃんの泣き声が聞こえてきました。どぐうちゃんは「どうしたのだろう？」と思い、空を飛んで村に行ってみました。

すると人びとは食べ物が少ししかなくて苦しんでいたのです。

どぐうちゃんはすぐに持っていた木の実をゆでて人びとにあげました。

それからどぐうちゃんは人びとに

「私は土の人形になります。祭りの時に私を割り、かけらを家に持って帰り、大切に土の中にうめてください。そうすれば食べ物が、なくなることはないでしょう。」

と言って土の人形になりました。

祭りの日、人びとは土の人形を割り、家に持って帰り、大切にうめました。

すると、次の日から木の実などがたくさん取れるようになり、食べ物がなくなることがなくなったそうです。



* 縄文人の心 *

人びとは、自分を犠牲にしてまで救ってくれたどぐうちゃんに感謝し、食べ物を与えてくれる森にも感謝したことでしょう。また、縄文土器にどぐうちゃんの模様を付けることで感謝の気持ちを表したかもしれません。そして、どぐうちゃんがしてくれたことを忘れないために、その物語を子どもや孫たちに語り伝えたことでしょう。

これはひとつの例ですが、このような物語が様々なところで語り継がれるうちに、縄文人の中に、森に感謝し文化を大切にする心が育まれていったと考えられます。「じょうもん人からのメッセージ」は、森や文化を大切にする縄文人の心の原点ともいえます。

それでは、縄文人が大切にしていた森や文化はどのようなものだったのでしょうか？

* 小関里歩さんインタビュー *

Q：どの土器を参考にしてイラストを描いたのですか？

A：土器は山梨県立考古博物館に展示している殿林遺跡の土器を見て、どぐうちゃんは釈迦堂遺跡博物館に展示している土偶を参考にして描きました。

Q：その土器を見て、どう思いましたか？

A：私も土器作りをしたことがありますが、粘土を細くするとすぐにヒビが入って作るのが大変です。殿林遺跡の土器の粘土は細くてなめらかなので、上手に作っているなぁと感心しました。

Q：どのようにして、どぐうちゃんが土の人形になり、割られてかけらにされることを思いついたのですか？

A：釈迦堂遺跡博物館で、縄文人は土偶を割って大切に埋めていたことを教えてもらっていたので、それを参考にしました。私は土偶が好きで、特に釈迦堂遺跡のもの好きなので、土偶を主人公にした物語を考えました。

Q：なぜ、どぐうちゃんは自分の身を犠牲にしてまで、人間たちを助けたのでしょうか？

A：どぐうちゃんが優しいからです。人びとが困っているのをほっとけなかつたと思います。

Q：食べ物に困らなくなった人間たちは、その後どうしたと思いますか？

A：毎年毎年どぐうちゃんをまつのお祭りをしたり、他に困ったことがあった時に土偶にお祈りをしたりしたと思います。

Q：イラストはどの場面を描いたのですか？

A：木の実をゆでようとしている場面です。

Q：縄文時代をイメージすると、どのようなものですか？

A：今より物が少ないので物を大切に使い、みんなで助け合い、仲良く暮らしていたと思います。

Q：縄文時代に行ってみたいですか？行ったとしたら何をしたいですか？

A：行ってみたい。行ったら縄文人と一緒に土器を作りたい。でも冬は寒そうですね。



小関里歩さん



参考にした土偶
釈迦堂遺跡(笛吹市・甲州市)



参考にした土器
殿林遺跡(甲州市)

この小関さんの物語は、平成20年7月～11月に行われた、「伝えて！じょうもん人からのメッセージ イラストコンテスト」において、小学5～6年生の部で最優秀賞に輝きました。

イラストはオリジナルスタンプになり、「縄文王国山梨」の7館で押すことができます。

イラストコンテスト1～4年生の部 最優秀賞



廣瀬克己さん(一宮西小学校4年生)

森へ ー 狩りに 木の実とりに ー

人びとは森で狩りをし、木の実を取り、食料にしています。そして最近では、ダイズなどの栽培もしていたことがわかりました。

縄文時代にはオオツノジカなどの大型動物はいなくなり、森にはニホンジカやイノシシ・ノウサギなどがすんでいました。人びとはこれらの動物をとるために、弓矢を使い狩りをしました。狩りは数人でまとまっておこなったようです。イヌも連れて行ったようです。

矢の先には黒曜石などで作るとがった石鏃がつけられました。また、落とし穴などをつくり、そこに獲物を追い込んでとることもありました。

秋には森の木々がいっせいに実を落とします。人びとは木の実をひろいに出かけ、次の秋までの一年分の食料になる木の実を、大量にたくわえました。

川では、網を使って魚をとりました。釈迦堂遺跡や上石田遺跡では、うきやおもりがみつかっています。県外では釣り針もみつかっています。

海からは遠い山梨県、ですが縄文のムラからは海でとれる魚や貝もみつかっています。これらは、山や川を越えてこの地に運び込まれたものだと考えられます。

このほか、山菜、きのこなども食べていました。



落とし穴
八ヶ岳のすそ野、北杜市清里バイパス第1遺跡では、長さ2m、幅1m、深さ1mほどの落とし穴がまとまって見つかりました。



石鏃 釈迦堂遺跡(笛吹市・甲州市)

縄文のムラから見つかった骨と貝

- シカ・イノシシ・ノウサギ・ニホンザル・カワウソ・タヌキ・キツネ(石之坪遺跡)
- イヌ(釈迦堂遺跡) ●カエル・鳥類(清水端遺跡) ●ハマグリ(釈迦堂遺跡)
- 貝製飾り・コイ(花鳥山遺跡) ●タイ(百々・上八田遺跡)

そのほかテン・ツキノワグマも見つかっています。これらの動物は、縄文時代から人びとの身近にいたことがわかります。



縄文人が食べていた動物や植物の例



ムラから見つかった木の実(トチ)
三宮地遺跡(韮崎市)



うき
釈迦堂遺跡(笛吹市・甲州市)



石のおもり
釈迦堂遺跡(笛吹市・甲州市)

いただきます！！縄文時代の食べもの

縄文時代の主食は、米ではなく木の実でした。

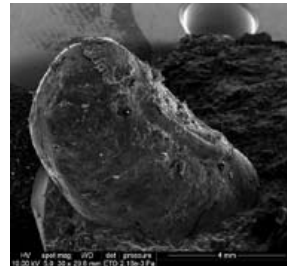
しかし、木の実はそのままでとても渋くて食べられません。渋みを抜くために土器で何日も何日もくり返しゆで、渋みが抜けたところで粉にして保存できるようにします。食べる時には山菜や肉などをまぜてクッキー形・ハンバーグ形にして焼いたり、粉をゆでてどろどろのおかゆにしたり、団子にしてお汁に入れて食べたりしました。栄養満点で、少しの量でも満腹になります。長持ちするうえに、クッキー形にすれば持ち運びもできるので、狩りや遠くのムラに石取りに行く際などに、持って行ったかもしれません。



縄文コラム

人の骨の成分を分析すると、おおよそ食べたものの割合がわかります。

長野県北村遺跡でみつかった縄文時代の人の骨を分析すると、木の実類を主に、動物や魚を食べていたことがわかりました。



ダイズ痕跡写真
(山梨県立博物館提供)



ダイズ痕跡が見つかった土器
酒呑場遺跡(北杜市)

発見!!

北杜市酒呑場遺跡の土器から小さな穴が見つかりました。形を調べてみると、栽培して育てたダイズのあとだとわかりました。この発見で縄文時代中ごろにはダイズを栽培していたことがわかり、栽培の歴史が大きくさかのぼりました。

食べものにまつわる道具

狩りの道具、弓矢の矢は、石をうすく割って作りました。多く使われる黒曜石はとても割れやすい石ですが、山梨ではとれません。人びとは、長野県や神津島までとりに行っていました。ナイフ代わりの石さじや穴をあける石きりなども、同じような材料で作りました。

いっぽう、木の実を割ったりすりつぶしたりする磨り石・くぼみ石・石皿は、ムラの近くの石を使い、すりつぶしやすいように大小のくぼみをつけて作っています。



石さじ



石きり



打製石斧(土を掘る道具)



磨製石斧(木を切る斧の先)



石皿とすり石

写真:すべて釈迦堂遺跡
(笛吹市・甲州市)

へえ! 縄文人のうんち

福井県鳥浜貝塚では、縄文時代の人間のふんの化石(糞石)が見つっています。





縄文ムラのイメージ

縄文王国の家とムラ

人々が家を見て、ムラ(集落のこと)に定住する暮らしが始まった縄文時代。ムラではどのような暮らしがあったのでしょうか。縄文人の暮らしぶりや、美のセンス、心の中ものぞいてみましょう。

どんな家に暮らしていたの？

縄文人たちは、地面を円形や方形に掘りくぼめ、丸木の柱を立て、その上に茅や草葺の屋根をかけた、半地下式の「竪穴住居」に暮らしていました。穴の大きさや深さ、形、柱の数や位置は時期によってバリエーションがあります。

縄文時代中期の竪穴住居は、柱穴の位置や炉の位置など家の構造がある程度かたまってゆきます。



復元された竪穴住居
県立考古博物館構内



環状に住居が並んでいる様子がよくわかります。
梅之木遺跡(北杜市)



長い年月の間建替えられた結果、住居跡同士が重なり合って発見されます。
釈迦堂遺跡(笛吹市 甲州市)

ムラ(集落)

縄文のムラは、住居のほかに、貯蔵穴やお墓とみられる穴、屋外炉などの調理施設、祭祀施設、廃棄施設、広場や道などで構成されています。中期には中央の広場を囲むように穴や住居が輪っか状にめぐる「環状集落」といわれるムラの形となります。

一度に営まれた住居数は通常4～6軒程度で、何度も建替えたりした結果、遺跡からは何十年、何百年分の家の跡がまとまって発見されることもあります。

1棟につき、4～5人で暮らしていたとみられるので、ひとつのムラで20～30人が暮らしていたようです。



貯蔵穴
石ノ坪遺跡(韮崎市)



縄文の道:水場へ向かう道
梅之木遺跡(北杜市)



復元住居と祭祀施設
金生遺跡(北杜市)

* 原始的な暮らしなの? *

縄文遺跡で出土する色々な道具を観察すると、縄文人たちの暮らしがわかる様々なヒントが見つかります。



アンギン痕のついた焼成粘土
京原遺跡(笛吹市)

例えば土器を作るために運ばれた粘土には、編みもの(アングイン編み)の痕がついていて、編布の袋に入れて運んでいたことがわかりました。また、土器を作るときに編布を底部に敷いて作っていたことなども土器の底の痕からわかるのです。つまり、縄文人たちは編み物をする技術をもっていたのです。ということは、当然編布で作った服を着ていたことでしょう。土偶の模様を見てもわかります。

縄文コラム

絵の具(顔料)入れとみられる小さな容器も見つっています。漆に赤色顔料を混ぜて土器に模様を描いたり、土偶を塗ったりしています。縄文人たちは色彩感覚だってあるのです。

また、ヒスイの首かざりや、模様のきれいな耳かざりなども身につけていて、なかなか縄文人もおしゃれですね。



顔料を入れていたとみられる土器
北原C遺跡(南アルプス市)



耳かざり
三宮地遺跡(韮崎市)



赤く模様が描かれた土器
酒香場遺跡(北杜市)

* 祈りの世界 * いのりの人形 ~ 土偶 ~

縄文人たちの祈りの象徴—「土偶」。粘土で作られ焼きあげられた人形のことで、多くは女性をかたどっていて母性や豊穡を表したシンボル「女神さま」とみられています。釈迦堂遺跡からは国内有数の出土量を誇る土偶 1,116 個体が出土しています。そのほとんどは体の一部分だけで、中には土の中に丁寧に納めていたものもありました。ただし、^{いもじやいせき} 鋳物師屋遺跡や ^{うしろたいせき} 後田遺跡の土偶のように、大部分が復元でき、妊婦の様子がよくわかる大型の土偶もあります。



土偶群 釈迦堂遺跡(笛吹市 甲州市)

全国の例では、赤ちゃんを抱っこしたお母さんの姿の土偶などもあり、^{しそんはんえい} 子孫繁栄や家族への思いがこめられていたことでしょう。



後田遺跡
(韮崎市)

右手は腰に、
左手はお腹の子を
大事にしている
ようですね

鋳物師屋遺跡
(南アルプス市)



* 女神さまとイノシシ *

縄文人は、土器に女神さまや動物の立体的な模様を描いたり、動物の土偶をつくることもあります。この飾りに、縄文人はどんなメッセージをこめていたのでしょうか。

縄文人が作った動物に、イノシシやヘビがよく登場します。イノシシは一度に5～10頭ものこどもを産む多産な動物なので、子孫繁栄や豊穡を象徴しており、女神さまの化身と考えられていたようです。また、ヘビは毒をもっていたり脱皮をするという不思議な力を持つことで神の化身と考えていたようです。また、マムシはその形が男性器を連想させることから男性の象徴ともみられています。イノシシ・ヘビともに子孫繁栄を表しているのです。

女神さまや動物が描かれている土器には、家族やムラの繁栄、自然の豊かさなどへの願いが込められているのですね。

* まつりの風景 *

王国では石を敷きつめたり、並べたりした祈りの空間が発見されています。その中には石棒をたてた例や、韮崎市女夫石遺跡のように巨石を数百年にわたり信仰の対象としていた例もあります。また、縄文時代中期になると住居の中に祭壇状に石を並べた空間も作られます。

* よみがえるいのち *

ムラのひとが亡くなると、ムラの一角に楕円形や円形の穴を掘って土葬にしていました。このとき手足を曲げ、胎児のような格好に戻して埋葬したようです。身に着けていたものを副葬したものや穴に石をめぐらしたものの(石棺墓)、土器を棺にしたもの(甕棺や埋甕)もみられます。また、赤ちゃんが亡くなると土器に納めて家の中に埋葬し、お母さんがまたぐことでお腹の中に魂が戻ってくるように祈っていたのでしょ

縄文人のメッセージはいろいろなものからよみとることができ、わたしたちの想像以上に文化的な暮らしをしていたようです。

愛情にあふれ自然とともに生き、いろいろなものに祈りをこめた縄文人たち。縄文時代で最も華やかな文化をほこる、縄文時代中期の遺跡にあふれる山梨は

まさに「**縄文王国**」なのです。



イノシシの土偶
釈迦堂遺跡
(笛吹市 甲州市)



出産の様子が描かれている土器
津金御所前遺跡(北杜市)



ヘビ



イノシシ



イノシシ・ヘビの両方が描かれた土器
一の沢遺跡(笛吹市)



埋甕
北原C遺跡
(南アルプス市)

配石遺構
金生遺跡(北杜市)



国内最古級のヒスイ製
大珠の副葬品
天神遺跡(北杜市)



縄文王国山梨 主な遺跡と参加館マップ

山梨には、たくさんの縄文時代の遺跡があります。すべてご紹介できないため、この副読本に登場する縄文遺跡を中心に取り上げてみました。遺跡の多いところに、「縄文王国山梨」に参加している博物館施設もありますよ。各地にある縄文文化の“あしあと”をたどってみてください。

北杜市長坂郷土資料館
所在地：北杜市長坂町中丸1996
電話：0551-32-6498

北杜市埋蔵文化財センター
所在地：北杜市明野町上手8310
電話：0551-25-2019

笛吹市・甲州市組合立 釈迦堂遺跡博物館
所在地：笛吹市一宮町千米寺764
電話：0553-47-3333

山梨県立博物館
所在地：笛吹市御坂町成田1501-1
電話：055-261-2631

山梨県立考古博物館
所在地：甲府市下曾根町923
電話：055-266-3881

南アルプス市ふるさと文化伝承館(公開準備中)
所在地：南アルプス市野牛島 2727
電話：055-282-7269(南アルプス市教育委員会)

韮崎市民俗資料館
所在地：韮崎市藤井町南下条786-3
電話：0551-22-1696

遺跡：八ヶ岳、清里ハイバス遺跡、天神遺跡、甲ッ原遺跡、津金御所前遺跡、酒呑場遺跡、金生遺跡、清水端遺跡、梅之木遺跡、中道遺跡、坂井遺跡、平林遺跡、石之坪遺跡、女夫石遺跡、三宮地遺跡、後田遺跡、上石田遺跡、百々・上八田遺跡、北原C遺跡、中畑遺跡、長田口遺跡、鑄物師屋遺跡、京原遺跡、一の沢遺跡、花鳥山遺跡、牛石遺跡、中谷遺跡、殿林遺跡、安道寺遺跡、釈迦堂遺跡、富士山、大菩薩嶺、甲武信ヶ岳、駒ヶ岳、北岳

ワークショップ じょうもん人にチャレンジ!

「縄文王国山梨」では、それぞれの館や、または合同で、いろいろなワークショップ・縄文体験イベントを行っています。興味のあるものがあったら、ぜひ近くの館にお問い合わせしてみてくださいね。



土偶作り



縄文染め



縄文クッキー作り



縄文弓矢体験



ドングリ粉作り



縄文編み体験

* 縄文王国山梨 にとっておきのお宝 *

ここでご紹介する資料は、縄文時代の人々が、現代のわたし達に数多く残してくれた文化遺産の代表です。それぞれにとっても優れたもので、国や県の文化財指定を受けたものも多く、また全国各地の博物館で開かれた展覧会などに何度も出品されたり、海を渡って外国での日本文化を紹介する展覧会に展示されたものもあります。

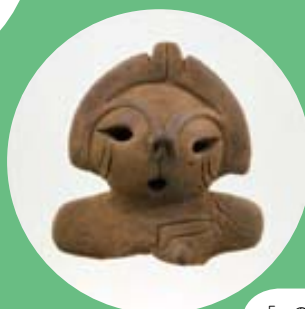
まさに、わたしたち、山梨のお宝といえます。こんな素晴らしいものを残してくれた縄文時代に、熱いまなざしをおくってくださいね。



「釈迦堂遺跡出土品」(重要文化財)

出土地：釈迦堂遺跡
(笛吹市と甲州市の境)
保管：釈迦堂遺跡博物館

大きな土器に逆巻く水の流れのようなデザインの飾りがついています。このほど修理作業が行われ、きれいな縄文の姿がよみがえりました。



「一の沢遺跡出土品」(重要文化財)

出土地：一の沢遺跡
(笛吹市境川町)
保管：山梨県立考古博物館

愛らしい表情の土偶は、県立考古博物館のシンボリックな存在にもなっています。元から胸より下が欠けて失われていますが、土偶のお祭りのようすを考えるのによい資料としても注目されます。

「深鉢形土器」(重要文化財)

出土地：殿林遺跡
(甲州市塩山土荻原)
保管：山梨県立考古博物館

大きな土器ですが、均整のとれた形と文様で、外国の人にとっても人気があります。



「鑄物師屋遺跡出土品」(重要文化財)

出土地：鑄物師屋遺跡
(南アルプス市下市之瀬)
保管：南アルプス市ふるさと文化伝承館

首から下が円錐形で、中が空洞になっているめずらしい形の土偶です。左手をおなかに、右手を腰にまわした独特なポーズに、縄文人のどんなメッセージがこめられているのでしょうか。

「硬玉製大珠」

出土地：天神遺跡
(北杜市大泉町)
保管：山梨県立考古博物館

縄文前期のお墓と見られるところから見つかったもので、これまでのところわが国で最古のヒスイ(硬玉)ペンダントだといわれています。硬い石に、どのように穴を開けたのでしょうか。

縄文王国山梨「伝えて！じょうもん人からのメッセージ」

平成20年度文化庁芸術拠点形成事業(ミュージアムタウン構想の推進)

「縄文女神物語」を現在によみがえらせるミュージアムタウン形成事業 副読本

縄文王国構成館：県立考古博物館・県立博物館・釈迦堂遺跡博物館・北杜市長坂郷土資料館・
韮崎市民俗資料館・北杜市埋蔵文化財センター・南アルプス市ふるさと文化伝承館

写真提供：韮崎市教育委員会・笛吹市教育委員会・北杜市教育委員会・南アルプス市教育委員会

発行：縄文王国山梨実行委員会

発行年月日：平成21年2月8日

印刷：峡南堂印刷